



「山口ゆめ回廊博覧会」アートプロジェクト

Yumehaku Art & Food in RURIKOJI 『Osmosis 滲透』

船越雅代監修の『香積水器』および『香積水器箱』 限定発売

10月21日(木) 予約販売開始



Photo: Yujiro Sagami

山口ゆめ回廊博覧会実行委員会は、食とアートで山口を表現するイベント”Yumehaku Art & Food in RURIKOJI 『Osmosis 滲透 (オズモウシス しんとう)』 (演出・監修・料理：船越雅代) で使用される器と食具（匙箸）『香積水器(こうしゃくすいき)』を、2021年10月21日(木)より、新山口駅にあるショップ「SELECT YUMEHAKU」とオンラインストアにて予約販売いたします。

船越雅代が監修した器と食具『香積水器』全6種を単品で販売するほか、『香積水器』一式をセットにしてオリジナルの木箱に詰めた『香積水器箱(こうしゃくすいきばこ)』も15組限定で販売します。

『香積水器箱』は、船越と美術家・林 智子がデザインし、山口市仁保下郷で木材制作を営む、かしわ製作所(代表：柏 良治) が制作しました。箱の素材には山口の古材を使用し、山口県央連携都市圏域（山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町。以下圏域）で収穫した山野草をブレンドした香り高いお茶を詰めてお渡しいたします。

『香積水器』『香積水器箱』の名は、大内氏時代の瑠璃光寺が『香積寺』と呼ばれていたこと、衆僧の食事、また寺院の厨房を意味する『香積』に着想を得ています。

山口の自然の恵みからいただいた香りを積んで届けるという意味を込めて、圏域の魅力をこの一箱に詰めた『香積水器箱』は、おもてなしにも適した大皿を中心としたセットになります。

## Yumehaku Art & Food in RURIKOJI 『Osmosis 滲透』 『香積水器』 販売概要

予約開始日 10月21日(木) 9:00～ ※予約に達し次第終了

販売場所 SELECT YUMEHAKU (JR新山口駅2階[新山口駅観光交流センター内])  
オンラインショップ (<https://osmosis2021.base.shop> ※10月21日(木)オープン予定)

お届け時期 11月30日(火)以降順次発送予定

### ” Yumehaku Art & Food in RURIKOJI 『Osmosis 滲透』 ” について

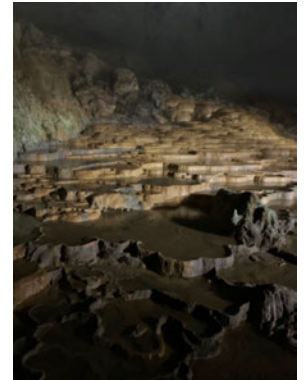
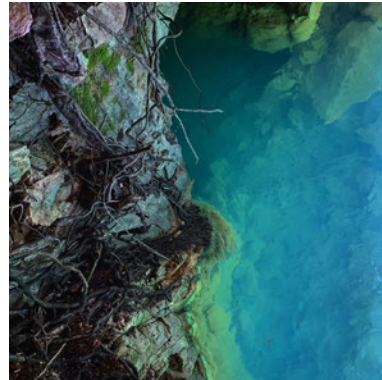
山口ゆめ回廊博覧会 実行委員会が、京都で食とアートの空間「Farmoon」を主宰するアーティストの船越雅代を迎え、食とアートで山口を表現する3日間限定のイベントで、2021年10月22日(金)～24日(日)に開催されます(各回定員20名)。会場は、室町時代に山口を中心に栄えた大内文化の最高傑作ともいわれる国宝 瑠璃光寺五重塔(1471年創建)をはじめ、山口市の歴史や文化を象徴する史跡を多く有する香山公園。イベントで使用する器や食具なども、山口県内の作家と船越がこの日のために制作しました。

\*本イベントのチケットは完売しています



Photo: Akitake Kuwabara

地球上の生命の源であり、その環境によって様態を変化し流動する水。  
豊かで多様な水を湛えた山口と、その美しい水によって育てられた自然の造形、作物。  
滲透、というその言葉に導かれ 水のミクロの視点に近づき、滲透していくその細胞に  
意識をよせてみる。  
船越雅代



『香積水器』制作のためのスケッチ、『Osmosis 滲透』のイメージソースなど Sketch & Photo: Masayo Funakoshi

### 関連イベント『朝茶時』(予約受付中)

船越雅代の世界観をより多くの方に体験していただけるよう、朝の茶会を開催します。この茶会では、山口県内で採取した山野草をブレンドした2種のお茶と、山口市を代表する銘菓を新たな解釈で再構築したお菓子をご提供します。会場に流れる音楽や使用する食器類も、全て船越が監修。山口の風土や文化を体感しながら、『Osmosis 滲透』が導く特別な秋の朝をお過ごしください。

### 開催概要

タイトル: Yumehaku Art & Food in RURIKOJI 『朝茶時』

日時: 10月25日(月)～26日(火) ①open 6:00 start 6:30 ②open 8:00 start 8:30 ③open 10:00 start 10:30

会場: 香山公園(山口県山口市/瑠璃光寺五重塔・満月の庭 周辺)

定員: 各回とも20名 料金 3,000円(税込)

Peatixにてチケット販売中 [<https://asachaji.peatix.com>]

## 【単品作品『香積水器』】



Photo: Yujiro Sagami

左：琉璃紋器(るりもんぎ) ¥11,000(税込) 制作：伊藤太一(ガラス／山口市) 販売数 10  
水の波紋と琉璃色美しいガラス皿。温度により液体にも固体にも変化する  
ガラスの流動的な性質が、水のようにもあり、『Osmosis 滲透』の世界観を象徴する作品。

中：珠光杯(じゅこうはい) ¥6,600(税込) 制作：伊藤太一(ガラス／山口市) 販売数 10  
海底から生まれ、そして弾ける泡のように、真珠のような光の玉を内包するグラス。  
生命の根源である水と空気を著している。

右：透泉盃(とうせんはい) ¥5,500(税込) 制作：伊藤太一(ガラス／山口市) 販売数 10  
泉が湧きあがり、渦を巻いていくような紋様が特徴の盃。



Photo: Yujiro Sagami

左：此土皿(このつちざら) ¥16,500(税込) 制作：間鍋竹士(陶芸／防府市) 販売数 10  
山口の大地と満月をイメージした重厚感のある皿。作家自ら山口県の山々に足を運び、選び抜いた土で  
作られた。

中：月鏡鉢(げつきょうばち) ¥9,900(税込) 制作：間鍋竹士(陶芸／防府市) 販売数 10  
水を湛えた器に月を映す皿。月夜の晩に、国宝 瑠璃光寺五重塔を望む満月の庭で開催する『Osmosis 滲透』  
を象徴する器。

右：匙箸(すじょ) ¥9,900(税込) 制作：柏 良治 [食具／山口市]・冨田潤二 [大内塗／山口市) 販売数 10  
大内氏のはじまりは、百済国聖明王の第3王子・琳聖太子と伝えられていたこともあり、韓国の食具を  
イメージして、柏に制作を依頼。仕上げに大内塗を施している。作品名の「すじょ」は韓国語で匙と箸  
のセットをあらわす。

## 【セット商品『香積水器箱』】



Photo: Tomoko Hayashi

価格：¥95,000 (税込) 販売数 15

同梱内容：琉璃紋器・珠光杯・透泉盃・此土皿・月鏡鉢・匙箸

箱の素材には山口の古材を使用しています。圏域で収穫した山野草を  
ブレンドした香り高いお茶を詰めてお渡しいたします。

※写真は制作過程のイメージです。完成品は色味や仕様などが異なる  
場合があります。

監修：船越雅代 (Farmoon)

デザイン：林 智子

制作：かしわ製作所

## アーティスト・プロフィール

### 船越雅代 Masayo Funakoshi



Pratt Instituteで彫刻を専攻後、料理に表現の可能性を見出す。NYの料理学校 Institute of Culinary Education 卒業。Blue HillをはじめとするNYのレストランに勤めた後、ヨーロッパからアジアを放浪。オーストラリア船籍の客船のシェフとして太平洋を巡り、バリの老舗ホテルTandjung Sariのシェフを務め、2012年から拠点を京都に移し、国内外で、その土地を食文化、文化人類学、歴史などの視点から掘り下げ、食で表現する活動を展開する。2018年より京都Farmoon 主宰。Yumehaku Art & Food in RURIKOJI 『Osmosis 滲透』の演出・監修・料理を担当。

### 林 智子 (美術家)

幼少期に暮らしたアメリカの広大な砂漠地帯にある科学者の街ロスアラモスと京都の豊かな自然を原風景に、人と人、人と自然との交感によって生まれる親密な関係性と繋がりをテーマに身体性を介在させたインタラクティブ作品を制作。国内外で科学技術、自然科学、伝統工芸、料理などの専門家と分野を超えたコラボレーションや作品発表をおこなっている。

### 柏 良治 (食具／山口市)

かしわ製作所代表。店舗や事務所、住宅などの家具・建築デザインだけでなく、カトラリーなどのプロダクトデザインを主におこなう。Yumehaku Art & Food in RURIKOJI 『Osmosis 滲透』では、初めて大内塗とのコラボレーションをおこなう。

### 伊藤太一 (ガラス／山口市)

山口県周南市 (旧徳山市) 生まれ。アメリカのコミュニティカレッジで陶芸を学ぶうちにガラスの魅力に魅せられ、タイラー・スクール・オブ・アートでガラス工芸を学ぶ。帰国後、富山ガラス造形研究所で学び、2004年に山口市徳地にて個人工房『たいちガラスアート』設立。ベネチアガラスの技術をアレンジした吹きガラスの手法で、繊細なガラス作品を生み出す。

### 間鍋竹土 (陶芸／防府市)

山口県の土や釉薬のみを使用して「山口県の土の器」を制作する。陶芸に適したブランド土は一切使用せず、県内の山々に足を運び、土、石、鉱物を捜し求め、さまざまな土をブレンドしながら、その作品に合うものを配分。また、無農薬・無化学肥料の米を作り、その藁の灰で釉薬を作るなど、自然の恵みや流れのなかで常に新しい試みの作品を探求・制作する。

### 富田潤二 (大内塗／山口市)

富田大内塗3代目。前・大内塗漆器振興協同組合理事長で、大内塗唯一の伝統工芸士。2015年 山口県文化功労賞ほか、受賞多数。大内塗物教室を主宰し、後継者の育成や体験を通じて漆器の魅力の発信するなど、伝統の伝承に大きく貢献した。2021年3月に70歳で逝去。

## 『山口ゆめ回廊博覧会』開催概要

名称：『山口ゆめ回廊博覧会』（愛称 ゆめはく）

期間：2021年7月1日（木）～12月31日（金）

会場：山口県央連携都市圏域

＜山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町＞

主催：山口ゆめ回廊博覧会実行委員会

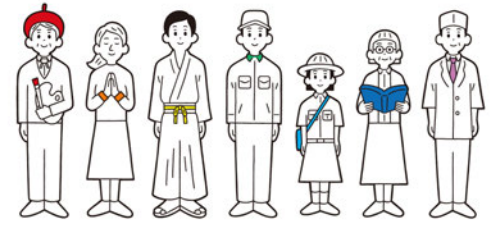
コンダクター：山出淳也（特定非営利活動法人 BEPPU PROJECT 代表理事）

クリエイティブディレクター：服部滋樹（graf 代表）

Website：https://yumehaku.jp

Facebook：https://www.facebook.com/yamaguchiyumekairoexpo/

Instagram：https://www.instagram.com/yumehaku2021/



山口ゆめ回廊博覧会  
YAMAGUCHI YUME KAIRO EXPO

## 『山口ゆめ回廊博覧会』『ゆめはく』とは

山口県央連携都市圏域（山口市、宇部市、萩市、防府市、美祢市、山陽小野田市、島根県津和野町）で開催。愛称は『ゆめはく』。

「7つの市町でつなぐ、7色の回廊」をコンセプトに、圏域の市町が持つ伝統や文化、自然といった魅力を7つのテーマ、「芸術」「祈り」「時」「産業」「大地」「知」「食」に分類し、そのテーマに沿ったイベント等を圏域全体で展開します。特別な場所で体験するアートと食のコラボレーションや、普段は見ることができない場所を案内するスペシャルなまち歩きなど、ゆめはくで「いま・ここ」でしか体験できないイベントをお楽しみください。



### [ 新型コロナウイルス感染予防対策実施について ]

新型コロナウイルスの感染状況や荒天などの影響により、やむを得ず中止する場合があります。

新型コロナウイルス感染状況により、入場いただける方の地域を一部制限する場合がございます。

あらかじめご了承ください。

変更した内容は随時公式WEBサイトでご案内いたします。

### メディアお問合せ窓口

山口ゆめ回廊博覧会 広報事務局（株式会社ハウ）

MAIL：pressrelease@how-pr.co.jp TEL：03-5414-6405 FAX：03-5414-6406

### 『ゆめはく』に関するお客様お問合せ窓口

山口ゆめ回廊博覧会実行委員会事務局（山口市交流創造部山口ゆめ回廊博覧会推進室内）

TEL：083-934-4152

E-mail：kenouhaku@city.yamaguchi.lg.jp

Web：https://yumehaku.jp